

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験(衛生関係)

施術者の手指細菌調査結果

技術者の熟練度高

10月19日

施術者1

被験者1 施術時

施術直前 施術直後



施術前	施術後
0	CNS \geq 400
	<i>Bacillus</i> sp. 50

cfu/スタンブ培地

施術直後から*S.aureus*が検出された。

技術者の熟練度低

10月19日

施術者2

被験者2 施術時

施術直前 施術直後



施術前	施術後
CNS 50	CNS \geq 400
<i>S.aureus</i> 15	<i>S.aureus</i> >50
Micrococcus	Micrococcus

cfu/スタンブ培地

施術前後から*S.aureus*が検出された。

10月19日

施術者1

被験者3 施術時

施術直前 施術直後



施術前	施術後
0	CNS \geq 400
	<i>Bacillus</i> sp. \geq 100

cfu/スタンブ培地

10月19日

施術者2

被験者4 施術時

施術直前 施術直後



施術前	施術後
<i>S.aureus</i> 5	
CNS	Micrococcus sp.
	CNS \geq 100
	<i>Bacillus</i> sp.

cfu/スタンブ培地

施術前から*S.aureus*が検出された。

11月9日

施術者1

被験者5 施術時 (2回目)

施術直前 施術直後



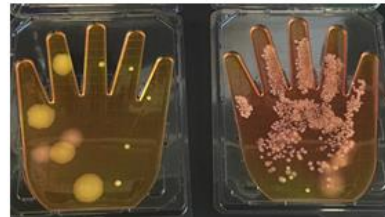
施術前	施術後
CNS 54	CNS 54
Micrococcus 24	<i>Bacillus</i> sp. 78
<i>Bacillus</i> sp. 6	

11月9日

施術者2

被験者6 施術時 (2回目)

施術直前 施術直後



施術前	施術後
<i>Bacillus</i> sp. 7	CNS 100
Micrococcus 5	Micrococcus 10
	<i>Bacillus</i> sp. \geq 100

cfu/スタンブ培地

施術者の手指細菌調査結果

技術者の熟練度高

11月9日

施術者1

被験者7 施術時 (2回目)

施術直前

施術直後



施術前	施術後
<i>Bacillus</i> sp. ≥ 100	<i>Bacillus</i> sp. 76
CNS ≥ 100	CNS 15
Micrococcus	

cfu/スタンブ培地

技術者の熟練度低

11月9日

施術者2

被験者8 施術時 (2回目)

施術直前

施術直後



施術前	施術後
<i>Bacillus</i> sp. 4	<i>Bacillus</i> sp. ≥ 100
Micrococcus 30	Micrococcus 15
CNS 10	CNS 30

cfu/スタンブ培地

12月14日

施術者1

被験者11 施術時 (3回目)

施術直前

施術直後



施術前	施術後
<i>Bacillus</i> sp. 3	<i>S.aureus</i> 15
CNS 18	CNS ≥ 100
	<i>Bacillus</i> sp. 15

cfu/スタンブ培地

施術後から*S.aureus*が検出された。

12月14日

施術者2

被験者9 施術時 (3回目)

施術直前

施術直後



施術前	施術後
<i>Bacillus</i> sp. 14	<i>S.aureus</i> ≥ 50 (MRSA含)
CNS 20	CNS ≥ 300
<i>S.aureus</i> 20	<i>Bacillus</i> sp. 25

cfu/スタンブ培地

施術前後から*S.aureus*が検出された。
施術後に分離された*S.aureus*はMRSAが含まれていた。

12月14日

施術者1

被験者12 施術時 (3回目)

施術直前

施術直後



施術前	施術後
CNS 15	CNS 90
Micrococcus	Micrococcus
	<i>Bacillus</i> sp. 20

12月14日

施術者2

被験者10 施術時 (3回目)

施術直前

施術直後



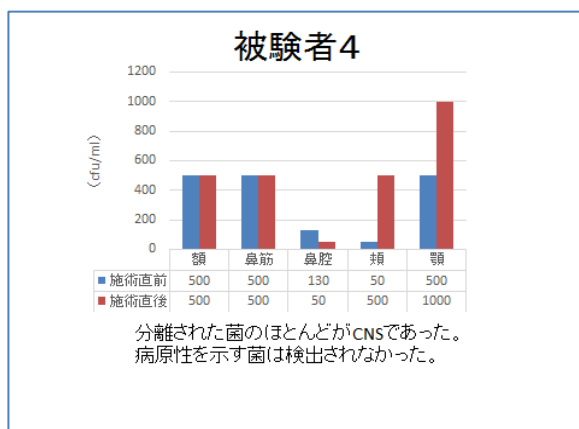
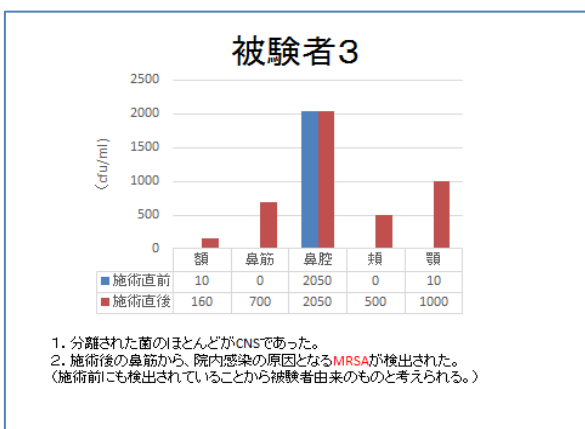
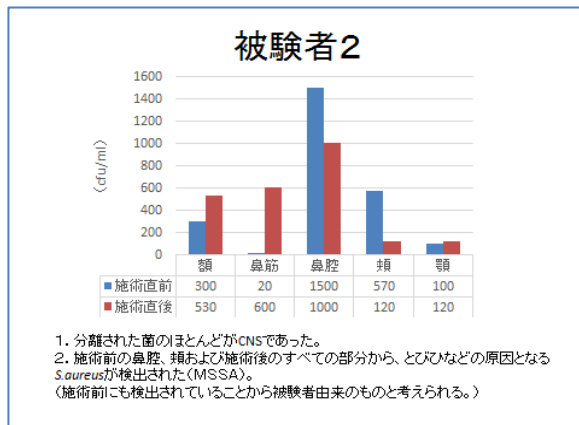
施術前	施術後
<i>Bacillus</i> sp. 1	<i>S.aureus</i> 50
CNS 1	CNS 100
	<i>Bacillus</i> sp. 25

cfu/スタンブ培地

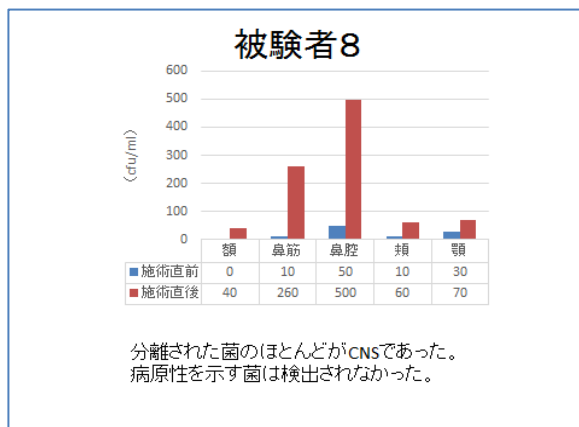
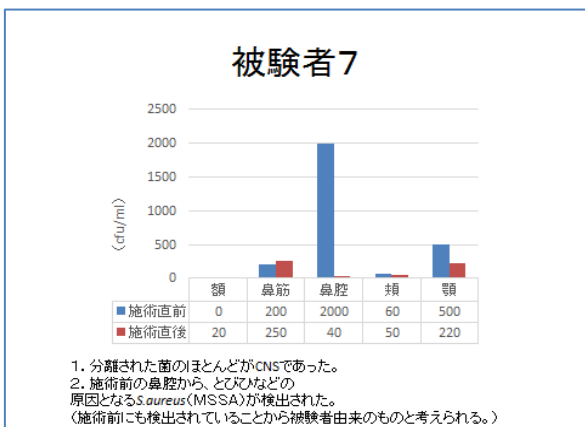
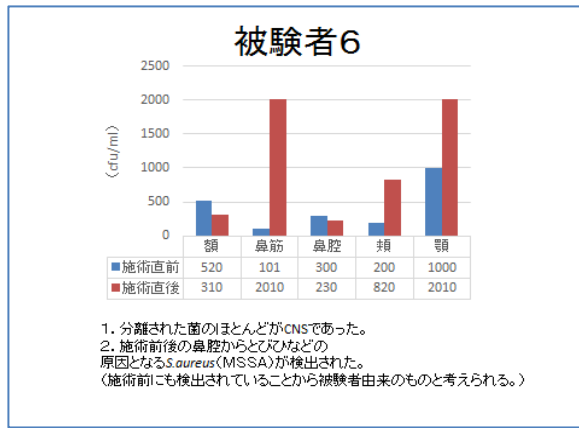
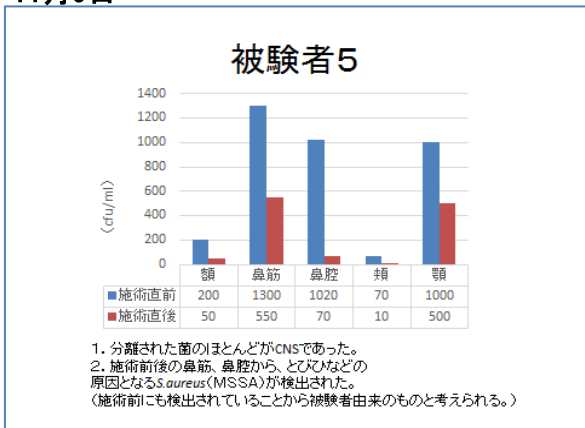
施術後から*S.aureus*が検出された。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 被験者の顔面皮膚の細菌検査結果

10月19日

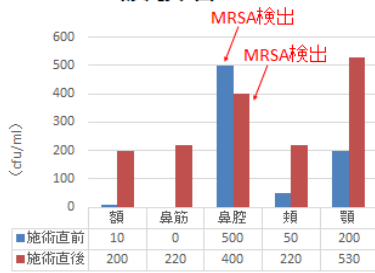


11月9日



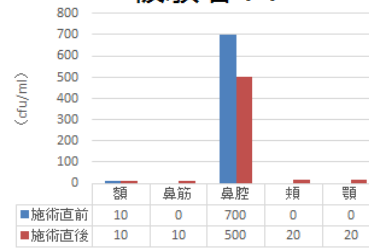
12月13日

被験者12



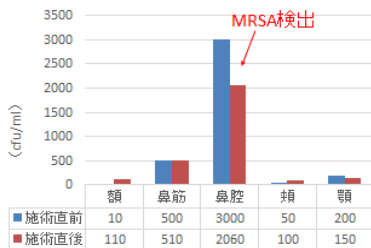
1. 分離された菌のほとんどがCNSであった。
2. 施術前後の鼻腔から、院内感染の原因となるMRSAが検出された。(施術前にも検出されていることから被験者由来のものと考えられる。)

被験者11



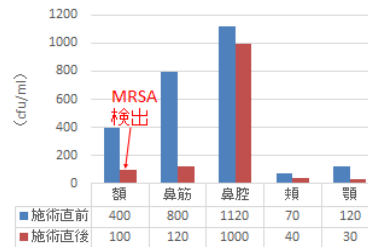
- 施術前後の鼻腔からとび菌などの原因となるS.aureus(MSSA)が検出された。(施術前にも検出されていることから被験者由来のものと考えられる。)

被験者10



1. 分離された菌のほとんどがCNSであった。
2. 施術後の鼻腔から院内感染の原因となるMRSAが検出された。

被験者9



1. 分離された菌のほとんどがCNSであった。
2. 施術後の鼻筋、頬、顎よりMSSAが検出された。また施術後の額から院内感染の原因となるMRSAが検出された。

被験者と施術者間での病原菌の伝搬



1. 施術者保菌のMSSAが施術後に被験者へ伝播した可能性が示唆された。
2. 被験者保菌のMRSAが施術後に施術者手指に伝播した可能性が示唆された。

被験者と施術者間での耐性菌の伝搬



フェイシャル施術用スチームタオル保温庫とスチームタオルの汚染状況について

サンプル採取箇所

- ①保温庫内扉 ②保温庫内カゴ ③保温庫外取手部分 ④施術用タオル（未使用）

方法（①保温庫）

- ①生理食塩水 1 m l が入った滅菌スピッツに綿棒を入れて、綿棒を湿らせる。
- ②各調査箇所をよく①の綿棒でぬぐいとる。
- ③①のスピッツ内の生理食塩水に②でぬぐった綿棒をよく懸濁する。
- ④血液寒天培地に 1 0 0 μℓ ずつ接種し、塗り広げて 3 7 ℃で培養する。
- ⑤菌数をカウントする。

方法（②スチームタオル）

- ①生理食塩水 1 m l が入った滅菌スピッツに 1 c m³角に切った使用前のスチームタオルを入れ、よく混和する。
- ②①を血液寒天培地に 1 0 0 μℓ ずつ接種し、塗り広げ 3 7 ℃で培養する。
- ③菌数をカウントする。

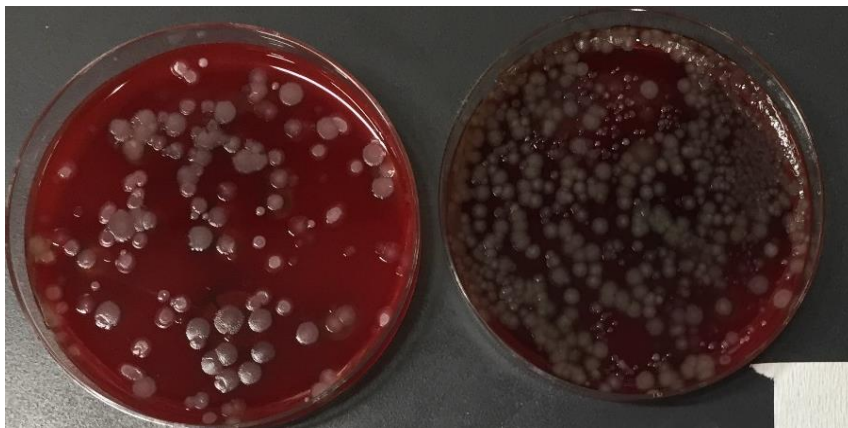
結果（1）保温庫

保温庫 (cfu/ml)		
内扉	カゴ	外側取手
10	10	10



結果（2） タオル

使用前のスチームタオル5枚より多数の菌が検出された。



タオル1 (680cfs/cm³)

タオル2 (3,360cfs/cm³)



タオル3 (470cfs/cm³)

タオル4 (1,280cfs/cm³)



タオル5 (1,000cfs/cm³)

まとめ

- ① スチームタオル保温庫の汚染状況を調査した結果、保温庫内扉、カゴおよび保温庫外取っ手には細菌による汚染がみられなかった。
- ② 使用前のスチームタオル1センチ立方メートルより $10^2 \sim 10^3$ の細菌が検出された。
➡ 高温に耐える芽胞形成菌と考えられた。